

真空パック機 コードレスタイプ VPF-C50

取扱説明書(WEB)

真空パック機コードレスタイプ

型番:VPF-C50[家庭用]



このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- ・ この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ・ ご使用前に「[安全上の注意 P6](#)」を必ずお読みください。
- ・ WEB マニュアルについては、「[Web マニュアルの使いかた P2](#)」をご確認ください。

本製品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

WEB マニュアルの使いかた

ここでは「WEB マニュアル」の使いかたを案内します。

当サイトは下記のブラウザでの使用を推奨しています。
Microsoft Edge ブラウザ(最新版)、Google Chrome ブラウザ(最新版)

◆WEB マニュアルについて



① メニュー/検索タブ

選択すると、メニュー一覧が表示されます。検索タブと切り替えて使用します。

② メニューリスト

メニュー一覧を表示させます。

③ 検索タブ

選択すると、目的の情報を検索できるようになります。メニュータブと切り替えて使用します。

④ 製品名、型番

お問い合わせ時には、製品名と型番をご連絡お願いいたします。

⑤ ページ内リンク

選択すると、ページ内の該当情報が表示されます。

⑥ 関連ページリンク

選択すると、WEB マニュアル内の該当ページが表示されます。

◆ 検索について



⑦ フリーワード検索

キーワードを入力することで、目的の情報を検索することができます。

⑧ 検索リスト

検索した結果が表示されます。選択すると、WEB マニュアル内の該当ページが表示されます。

- ・ デザインおよび仕様は予告なく変更することがあります。

もくじ

ご使用の前に.	6
安全上の注意.	6
使用上の注意.	10
確認と準備.	11
各部の名称.	11
付属品を確認する.	13
別売品を確認する.	14
充電する.	15
上手に使うために.	16
使いかたのコツ.	16
使いかた.	18
自動で真空パックする.	18
手動で真空パックする.	21
シール止めする.	24
ガラス容器の中を脱気する.	27
お手入れ.	29
本体.	29
シール用ゴムパッキン・シールヒーター.	30
脱気溝・スポンジパッド.	31
お困りのときは.	32

お困りのときは.....	32
--------------	----

その他の情報.....	35
--------------------	-----------

廃棄について.....	35
-------------	----

消耗品について.....	36
--------------	----

仕様.....	37
---------	----

保証とアフターサービス.....	38
------------------	----

お問い合わせ.....	39
-------------	----

ご使用の前に

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく使用してください。

人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

→ [危険 P6](#)

→ [警告 P6](#)

→ [注意 P8](#)

図記号の意味

	注意を促す記号です。		禁止を示す記号です。		必ず行うことを示す記号です。
---	------------	---	------------	---	----------------

	危険	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれが高い、差し迫った内容を示しています。
---	-----------	--

 分解禁止	・ バッテリーは分解しない 発熱・破裂により、火災やけがの原因になります。
	・ 内蔵以外のバッテリーを取り付けない ・ 指定以外の方法で充電しない ・ 本製品のバッテリーを他の機器に使用しない ・ 高温になる場所・直射日光の当たる場所で充電しない ・ 本製品を火に投げ入れたり、加熱したりしない ・ 本製品を高いところから落としたり、投げつけたり、釘をさしたり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたりしない ・ 本製品を水につけない 発熱・破裂・バッテリーの液もれにより、火災やけが、周囲を汚損する原因になります。

	警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
---	-----------	--

 分解禁止	・ 製品を分解・修理・改造をしない 火災・感電・けがの原因になります。修理については、お買い上げの販売店または修理専用コール( 電話をかける)へお問い合わせください。
---	--

	・ ペットや生き物に使用しない 火災・感電・やけど・けがの原因になります。 ・ 火気や暖房器具のそば、爆発物や可燃性のガスの近くで使用しない 火災・事故・けがのおそれがあります。
	・ 子どもや取り扱いに不慣れな方に使わせたり、幼児に触れさせたりしない 感電・やけど・けが・事故の原因になります。 ・ 取扱説明書に記載した以外の使いかたをしない 感電・やけど・けが・火災の原因になります。

USB ケーブルは正しく使う

	・ USB ケーブルのほこりは定期的に取り除く ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。
 ぬれ手禁止	・ ぬれた手で USB ケーブルの抜き差しをしない 感電・やけど・けがの原因になります。
 水ぬれ禁止	・ 雨の中や水まわり、風呂場などぬれるおそれのある場所では絶対に使用しない ・ 本体や USB ケーブルを水につけたり、水をかけたりしない 火災・感電の原因になります。

バッテリーについての注意

	・ 液がもれたり、異臭がするときは、直ちに火気から遠ざける 引火するおそれがあります。 ・ 液が皮膚や衣服についたときは、すぐに洗い流す 皮膚炎や衣服の損傷の原因になります。
	・ 電解液がもれたり、異臭がするときは、使用しない 発熱・発火・周囲の汚損の原因になります。



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。



- ・ 業務など家庭用以外で使しない
本製品は家庭用として設計されています。商用・業務用など、家庭用以外では使しない
てください。
- ・ 使用中は移動させない
故障・破損するおそれがあります。
- ・ 本体および付属品に直射日光が当たる場所で使用したり、保管したりしない
変形・劣化の原因になります。
- ・ ほこりの多い場所では使しない
故障・破損の原因になります。
- ・ 次のものを真空パックしない
 - 高温のもの:故障の原因になります。
 - 鋭利な形のもの、割れやすいもの:けがをするおそれがあります。
- ・ 使用直後に本体のシールヒーターや、袋のシール部に触れない
やけどの原因になります。
- ・ 保存物(袋)を直火やオーブンにかけない
- ・ 別売専用ロールや専用袋は火のそばに置かない
熱による変形や発火の原因になります。
- ・ 落としたり、強い衝撃を与えない
火災・感電・事故の原因になります。
- ・ スポンジパッド・シール用ゴムパッキン・シールヒーターを研磨剤入り洗剤などで拭かない
- ・ 乗ったり、寄りかかったりしない
- ・ 幼児の手の届く範囲では使しない
- ・ 子どもに遊ばせない
けがの原因になります。



火気禁止

- ・ 火気・暖房器具などに近づけない
火災などの原因になります。



- ・ お手入れは本体が冷めてから行う
感電・やけどの原因になります。

USB ケーブルは正しく使う



- ・ USB ケーブルを傷つけない
傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものをのせる、挟み込むなど
しないでください。
USB ケーブルが破損し、火災・感電の原因になります。

- ・ **USB ケーブルをたばねて使用しない**
火災の原因になります。USB ケーブルは必ずのばして使用してください。
- ・ **持ち運び時や収納時に USB ケーブルを引っ張らない**
火災・感電の原因になります。

使用上の注意

本製品は、食品やその他の生活用品を袋に入れ、空気を抜いて真空※パック(脱気密封)したり、保存物によってはシール(溶着)のみすることにより、保存をサポートするものです。また、保存だけでなく低温調理などにもおすすめです。

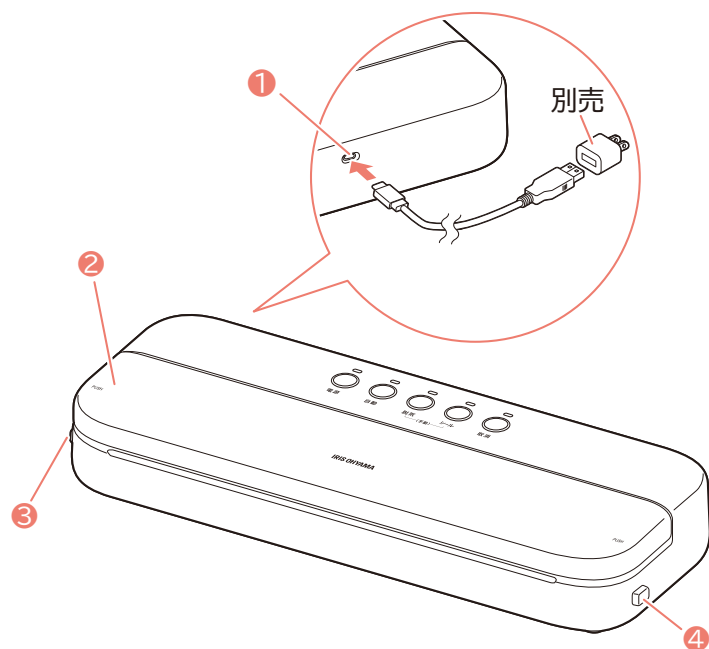
※真空とは、JIS 規格における「大気圧より低い圧力の気体で満たされた空間内の状態」のことです。完全な真空状態のことではありません。

- ・ 食品を保存するときは、真空パックして冷蔵庫や冷凍庫に入れてください。
- ・ 電子レンジを使用する場合は、袋の角を切って皿などに載せてください。また、油脂分の多い保存物の場合、袋が溶けることがあります。様子を見ながら加熱をしてください。
- ・ 真空パックは、いつまでも鮮度を保つわけではありません。注意してください。
- ・ この製品には殺菌作用はありません。十分注意してください。
- ・ 衛生上の観点から、袋の再利用はしないでください。
- ・ ご使用のとき
 - 安定して作業できる広さのテーブルの上などで使用してください。
 - 水分を多く含んだ食品などを真空パックするときは、あらかじめ十分水気を取るか、または冷凍してから入れてください。(シール不良や故障の原因)
 - シール直後はシールヒーターが熱くなっていますので、絶対に触れないでください。(やけどの原因)
 - 続けて使用する場合は、その都度 30 秒以上間をあけて使用してください。
- ・ ご使用にならないとき電源をオフにしてください。電源オンのまま 5 分間放置すると自動で電源がオフになります。
- ・ ご使用にならないときはロックせずに保管してください。スポンジパッドが圧縮されて脱気不良の原因になります。

確認と準備

各部の名称

— ふたを閉じた状態



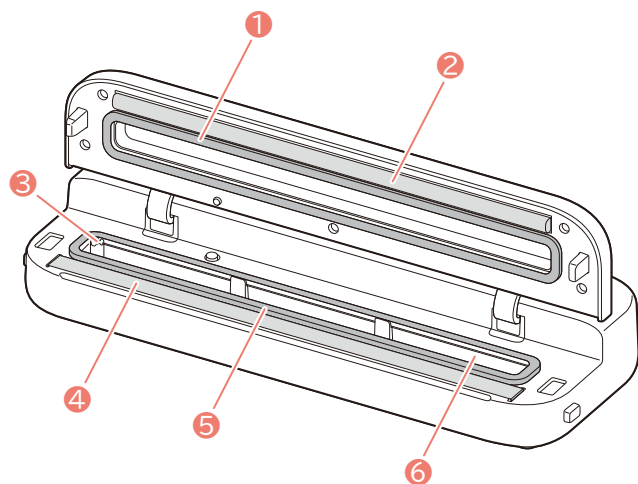
① USB ケーブル差し込み口

② ふた

③ ロック解除ボタン(左)

④ ロック解除ボタン(右)

— ふたを開いた状態



① スポンジパッド(上)

※スポンジパッドは裏表両方使えます。

② シール用ゴムパッキン

③ 脱気口

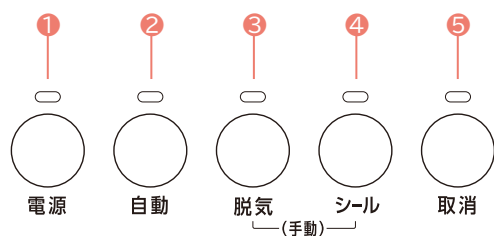
④ シールヒーター

⑤ スポンジパッド(下)

※スポンジパッドは裏表両方使えます。

⑥ 脱気溝

— 操作パネル



① 電源ボタン:ランプ(緑)

※電源ボタンを押すと、ピッと言が鳴ります。

※操作せずに 5 分間放置すると、自動的に電源が切れます。

② 自動モードボタン:ランプ(緑)

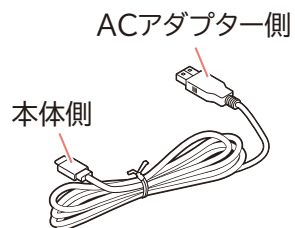
③ 脱気ボタン:ランプ(緑)

④ シールボタン:ランプ(赤)

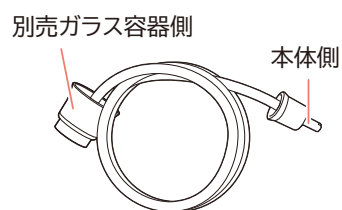
⑤ 取消ボタン:ランプ(赤)

付属品を確認する

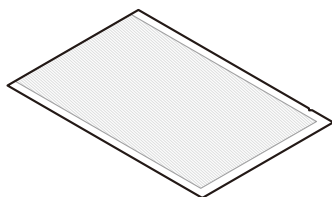
USB ケーブル(Type-A – Type-C)



容器用チューブ



専用袋×3

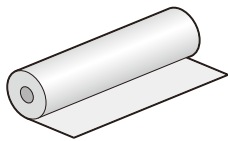


関連ページ

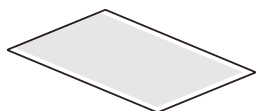
- [別売品を確認する P14](#)

別売品を確認する

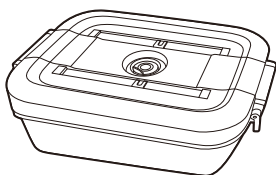
別売専用ロール



別売専用袋



別売専用耐熱ガラス容器(650mL、1500mL)



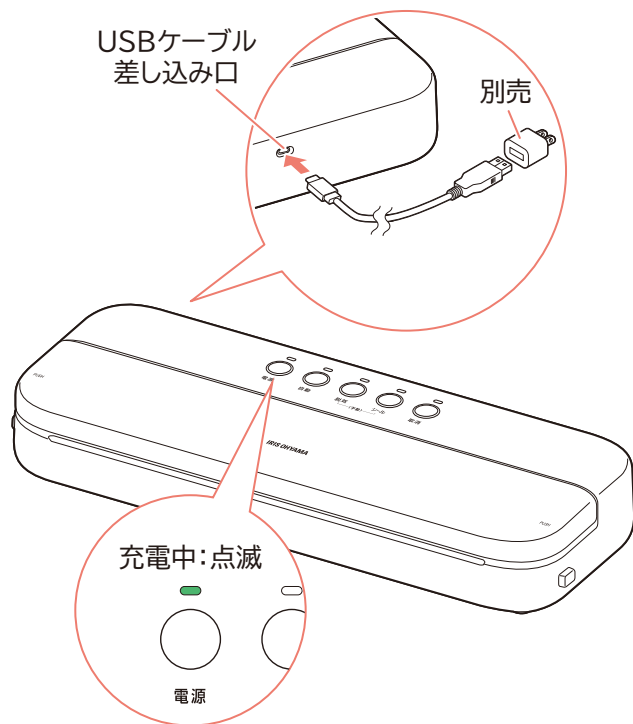
関連ページ

- ・ [付属品を確認する P13](#)

充電する

USB ケーブルを USB ケーブル差し込み口に差し込んで、充電してください。

充電中は電源ランプが点滅し、充電が完了すると点灯に変わります。

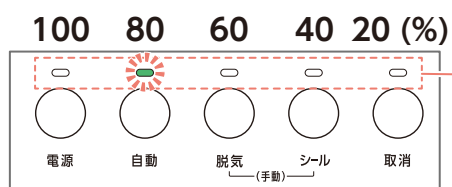


— 充電残量を確認する

電源 ON しているときに、取消ボタンを長押しすると充電残量が確認できます。

5 つのボタンのうち、どのボタンが点滅するかを見ることで充電残量がわかります。

(※充電残量が 80% の場合、左から 2 番目のランプが点滅します)



ランプで残量確認

関連ページ

- ・ [付属品を確認する P13](#)
- ・ [別売品を確認する P14](#)

上手に使うために

使いかたのコツ

— かに・えびなど、とがったもの

→袋に穴が開く場合があるので、ペーパータオルなどで包んでください。

— 肉や魚など、水分を多く含むもの

→肉や魚はペーパータオルなどを敷き、水分を吸収させてから使用してください。水分が多い場合は食材と袋の間にペーパータオルをはさんでください。

— 調理前のハンバーグ・餃子など

→ラップに包んでから袋に入れてください。

※空気が入らないようにラップをしてください。

— カレー・シチューなど、水分が多いもの

→ガラス容器で保存してください。(→[ガラス容器の中を脱気する P27](#))

— せんべい・ラスクなど、潰れや割れなどが懸念されるもの

→様子を見ながら手動で脱気をし、シール(溶着)してください。(→[手動で真空パックする P21](#))

— パン・カステラ・シュークリーム・スナック菓子など、やわらかく潰れやすいもの

→脱気をすると潰れてしまい、元に戻らなくなることがあります。脱気をせずにシール(溶着)のみ行うことをおすすめします。(→[シール止めする P24](#))

— 野菜や果物

→野菜や果物は呼吸をしているため、そのままの状態でのシール保存はおすすめしません。

- ・ 野菜は一度加熱してから袋に入れてください。
- ・ 果物はカットしてから袋に入れてください。

ポイント

水分が多すぎると、脱気溝に水がたまります。

脱気口に水が入ると故障の原因になりますので、使用后都度拭き取ってください。

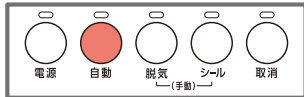
関連ページ

- [自動で真空パックする P18](#)
- [手動で真空パックする P21](#)
- [シール止めする P24](#)
- [ガラス容器の中を脱気する P27](#)

使いかた

自動で真空パックする

脱気からシールまでボタンひとつで行います。

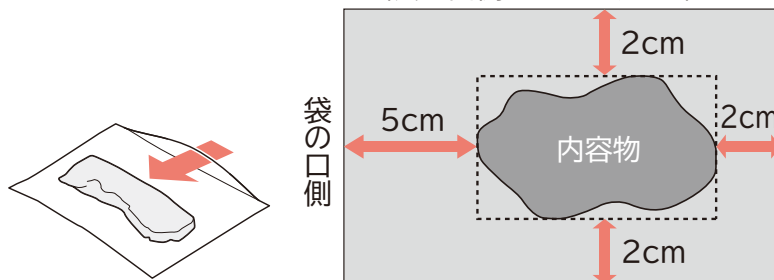


専用袋または別売専用ロール(袋状にしたもの)に保存するものを入れる

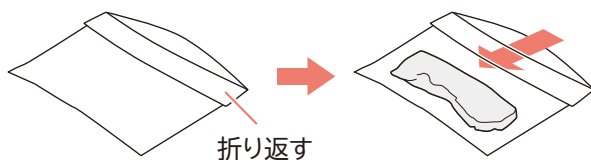
- ・ 中身が袋の端から 2cm(袋の口側は約 5cm)くらいの余裕をもつように入れます。(大き過ぎたり厚過ぎたりすると、上手く密封できない原因になります)

大きさの目安

- ・ 余白を 2cm くらいあける
(袋の口側は 5cm くらい)



- ・ シールする部分が汚れていると密封できない場合があります。専用袋の口を折り返すなどしてシールする部分が汚れないように入れてください。

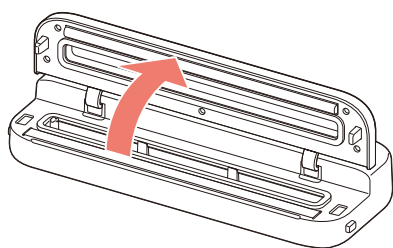


注意

- ・ 水分を多く含んだ食品などを真空パックするときは、あらかじめ十分水気を取るか、または冷凍してから入れてください。
水気が多すぎるとシール不良になったり、水分が脱気溝にたまり、あふれて脱気口に流れ込み故障する原因になります。
水分が多いもの(煮物や汁物など)はガラス容器に入れ、容器モードを使用してください。(ガラス容器の中を脱気する P27)

ふたを開ける

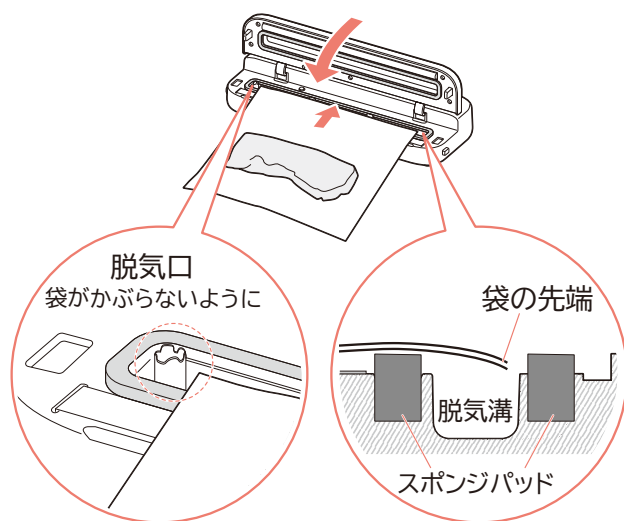
2



袋をセットしてふたを閉じる

- 専用袋が脱気口にかぶらないようにセットしてください。

3



※シールする部分が汚れていると密封できない場合があります。汚れていたら拭き取るなどしてきれいにしてからセットしてください。

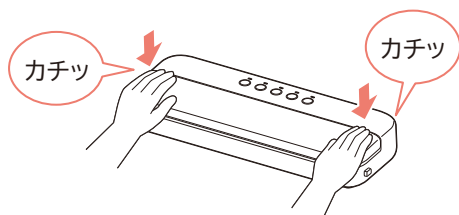


注意

- 細かい異物・水分などが脱気口に入らないようにご注意ください。
- 脱気口に別売専用ロール(専用袋)がかぶらないようにしてください。脱気できなかったり故障したりする原因になります。

ふたの左右端をしっかり両手で押し、カチッと音が鳴るまで閉める

4





自動 を押す

- 脱気中は自動ランプが緑点灯。(シールに移行しヒーター作動中はシールランプが赤点灯)
- シールが完了したらランプが消灯します。ロックボタンを押してふたを開け、シールされたか確認してください。
※シール動作の途中で、モーター音になりますが故障ではありません。袋を密着させるために少し脱気をしています。

5



- 途中で止めるときは 取消 を押す。



注意

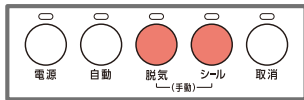
- 正しくシールされたか確認してください。約 2 mmの幅で隙間なくシールされている状態が正しくシールされた状態です。
- シール直後は袋のシール部や本体のシールヒーターに触れないでください。やけどのおそれがあります。

関連ページ

- [使いかたのコツ P16](#)
- [手動で真空パックする P21](#)
- [シール止めする P24](#)
- [ガラス容器の中を脱気する P27](#)

手動で真空パックする

お好みの脱気具合で密封するとき请使用してください。

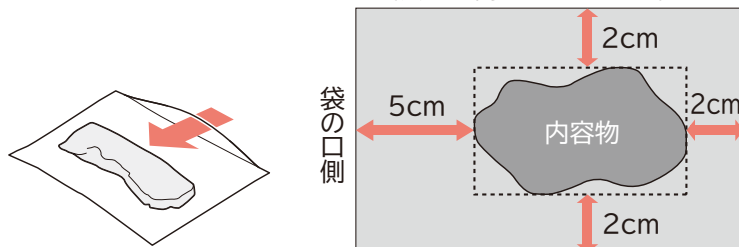


専用袋または別売専用ロール(袋状にしたもの)に保存するものを入れる

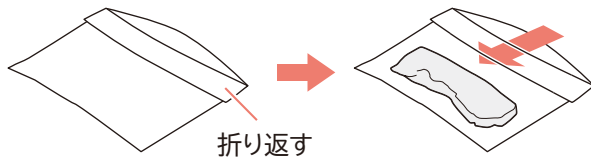
- 中身が袋の端から 2cm(袋の口側は約 5cm)くらいの余裕をもつように入れます。(大き過ぎたり厚過ぎたりすると、上手く密封できない原因になります)

大きさの目安

- 余白を 2cm くらいあける
(袋の口側は 5cm くらい)



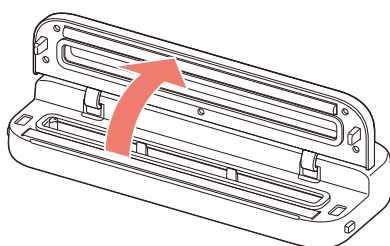
- シールする部分が汚れていると密封できない場合があります。専用袋の口を折り返すなどしてシールする部分が汚れないように入れてください。



注意

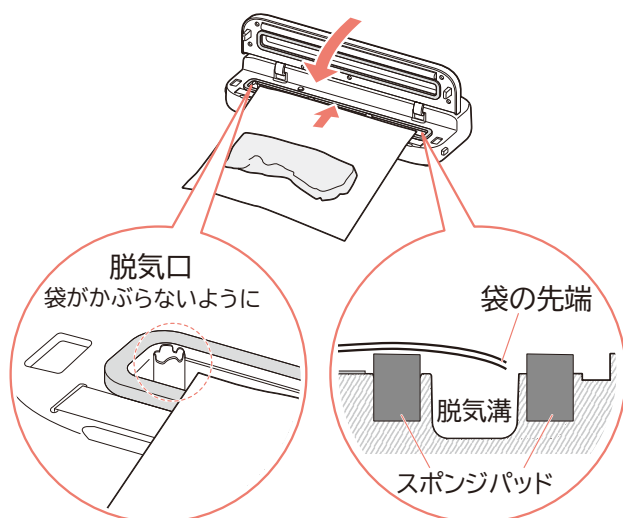
- 水分を多く含んだ食品などを真空パックするときは、あらかじめ十分水気を取るか、または冷凍してから入れてください。
水気が多すぎるとシール不良になったり、水分が脱気溝にたまり、あふれて脱気口に流れ込み故障する原因になります。
水分が多いもの(煮物や汁物など)はガラス容器に入れ、容器モードを使用してください。(ガラス容器の中を脱気する P27)

ふたを開ける



袋をセットしてふたを閉じる

- ・ 専用袋が脱気口にかぶらないようにセットしてください。



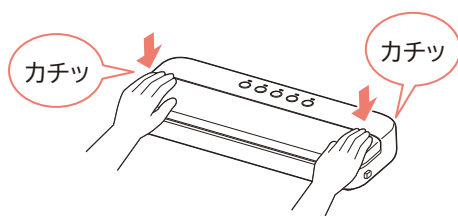
※シールする部分が汚れていると密封できない場合があります。汚れていたら拭き取るなどしてきれいにしてからセットしてください。



注意

- ・ 細かい異物・水分などが脱気口に入らないようにご注意ください。
- ・ 脱気口に別売専用ロール(専用袋)がかぶらないようにしてください。脱気できなかつたり故障したりする原因になります。

ふたの左右端をしっかり両手で押し、カチッと音が鳴るまで閉める



電源 を押して電源を入れる



脱気 を押す



- ・ 脱気 を押し続けている間、脱気します。



- お好みの状態まで脱気をしたら、**脱気** から手をはなします。
- 脱気が完了(下記の場合、脱気を終了します)



- ① **脱気** から手をはなす
- ② ボタンを押し続けて 60 秒経過する
- ③ それ以上脱気できなくなったとき



シール を押す

- シール中はシールランプが**赤点灯**します。(シール完了後に消灯)
※シール動作の途中で、モーター音がなりますが故障ではありません。袋を密着させるために少し脱気をしています。
- ロックボタンを押してふたを開け、シールされたか確認してください。



注意

- 正しくシールされたか確認してください。約 2 mmの幅で隙間なくシールされている状態が正しくシールされた状態です。
- シール直後は袋のシール部や本体のシールヒーターに触れないでください。やけどのおそれがあります。

関連ページ

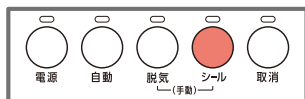
- [使いかたのコツ P16](#)
- [自動で真空パックする P18](#)
- [シール止めする P24](#)
- [ガラス容器の中を脱気する P27](#)

シール止めする

別売専用ロールを袋状にするときに行います。

※専用袋を使用するときは必要ありません。

また、脱気(真空)せずに密封したいときに使用します。

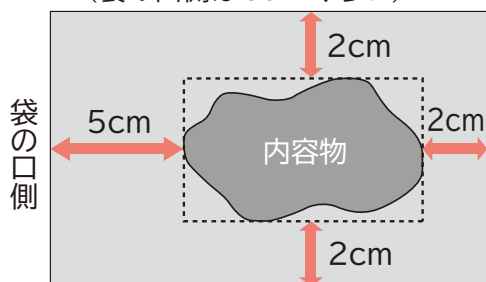


シール止めをするものを準備する

- 中身が袋の端から 2cm(袋の口側は約 5cm)くらいの余裕が持てるように専用ロールをカットする。(大き過ぎたり厚過ぎたりすると、上手く密封できない原因になります)

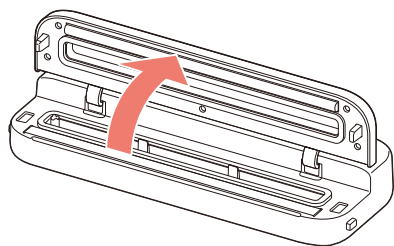
大きさの目安

- 余白を 2cm くらいあける
(袋の口側は 5cm くらい)



- シールする部分が汚れていると密封できない場合があります。専用袋の口を折り返すなどしてシールする部分が汚れないように入れてください。

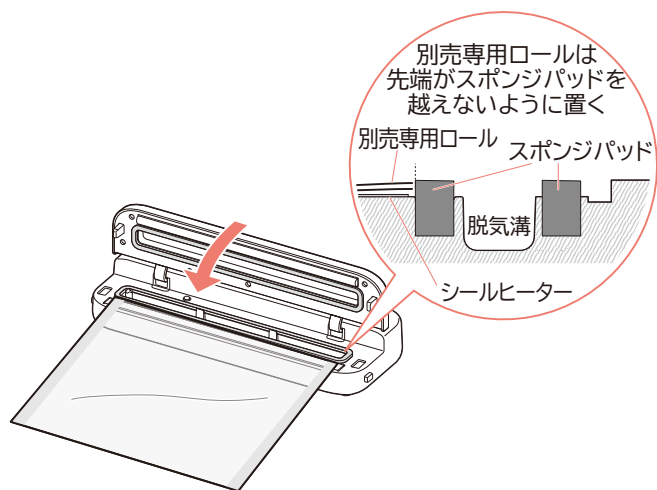
ふたを開ける



シール止めしたい部分をシールヒーターに載せる

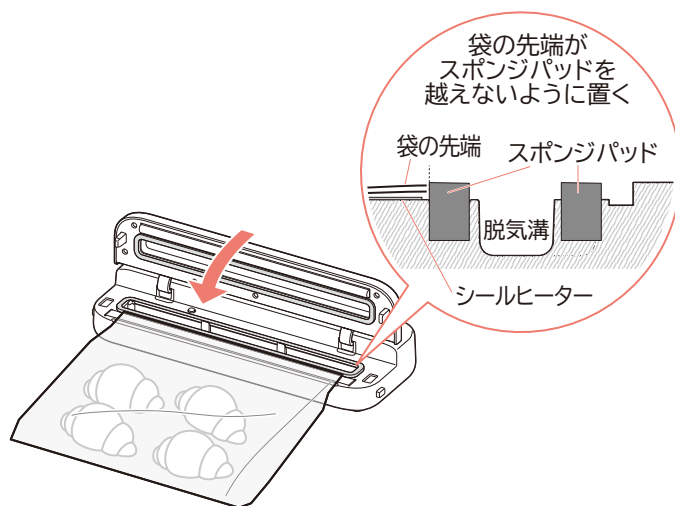
別売専用ロールを袋状にするとき

- カット済みの別売専用ロールのシール止めしたい部分をシールヒーターの上に載せる。



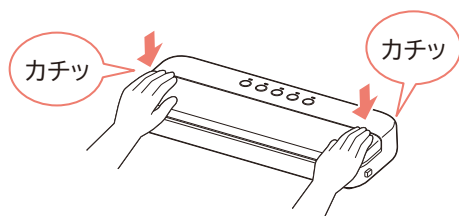
—脱気(真空)せずに密封するとき

- 専用袋または専用ロールを袋状にしたもののシール止めたい部分をシールヒーターの上に載せる。



※シールする部分が汚れていると密封できない場合があります。汚れていたら拭き取るなどしてきれいにしてからセットしてください。

ふたの左右端をしっかり両手で押し、カチッと音が鳴るまで閉める



4

5



電源 を押して電源を入れる



シール **を押す**

- ・ シール中はシールランプが赤点灯します。(シール完了後に消灯)
※シール動作の途中で、モーター音がなりますが故障ではありません。袋を密着させるために少し脱気をしています。
- ・ ロックボタンを押してふたを開け、シールされたか確認してください。



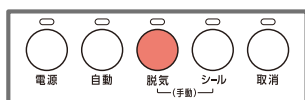
注意

- ・ 正しくシールされたか確認してください。約 2 mmの幅で隙間なくシールされている状態が正しくシールされた状態です。
- ・ シール直後は袋のシール部や本体のシールヒーターに触れないでください。やけどのおそれがあります。

関連ページ

- ・ [使いかたのコツ P16](#)
- ・ [自動で真空パックする P18](#)
- ・ [手動で真空パックする P21](#)
- ・ [ガラス容器の中を脱気する P27](#)

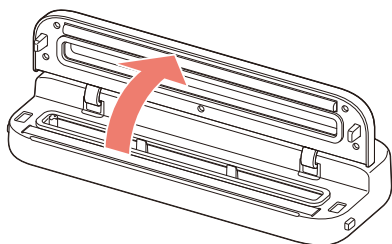
ガラス容器の中を脱気する



1 ガラス容器(別売)に保存するものを入れる

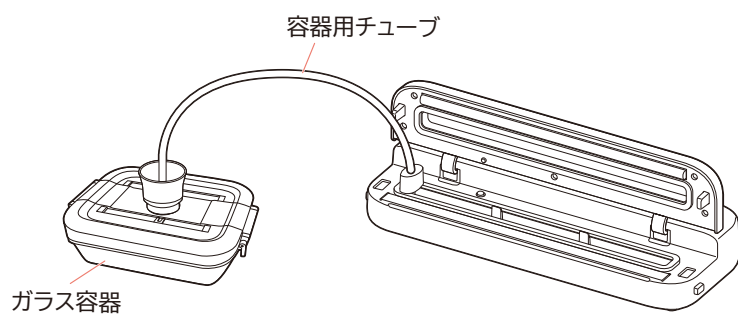
- ・ 必ず専用ガラス容器(別売)を使用してください。

2 ふたを開ける



3 付属の容器用チューブをガラス容器にセットし、本体とつなぐ

- ・ ガラス容器のふたをしっかりと閉めて、ガラス容器と容器用チューブを確実につないでください。



ポイント

- ・ ガラス容器とセットしたチューブを上から押さえつけるように固定しながら脱気してください。

- ・ 容器用チューブは、折れたり、ねじれたり、つぶれたりしないようにセットしてください。

4



電源 を押して電源を入れる



ふたを開けたまま 脱気 を押す



- ・ 脱気 を押し続けている間、脱気します。
- ・ 脱気が完了(下記の場合、脱気を終了します)



- ① 脱気 から手をはなす
- ② ボタンを押し続けて 60 秒経過する
- ③ それ以上脱気できなくなったとき

- ・ 脱気完了後、容器からチューブを外し、冷蔵庫等で保管ができます。
- ・ ガラス容器のふたを開けるときは、ふた中央のシリコンのつまみを軽くひっぱり、左右のストッパーを外して開けてください。

関連ページ

- ・ [使いかたのコツ P16](#)
- ・ [自動で真空パックする P18](#)
- ・ [手動で真空パックする P21](#)
- ・ [シール止めする P24](#)

お手入れ

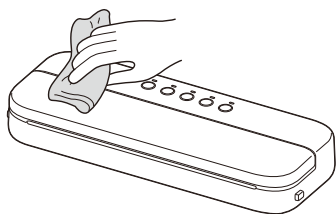
本体



警告

- ・ 運転を停止し、本体が十分冷めてからお手入れをする
- ・ 酸性・アルカリ性の強い洗剤や薬品、漂白剤、研磨剤、研磨剤入り洗剤、金属たわし、ナイロンたわし、研磨剤入りのスポンジなどは使用しない
破損や故障の原因になります。
- ・ 本体・USB ケーブルには水をかけない
感電・けが・故障の原因になります。

乾いた布で拭いてください。



- ・ 本体の汚れが落ちにくいときは、薄めた中性洗剤を含ませた布で汚れを取り除き、固くしぼった布で拭き取ってください。

関連ページ

- ・ [シール用ゴムパッキン・シールヒーター P30](#)
- ・ [脱気溝・スポンジパッド P31](#)

シール用ゴムパッキン・シールヒーター

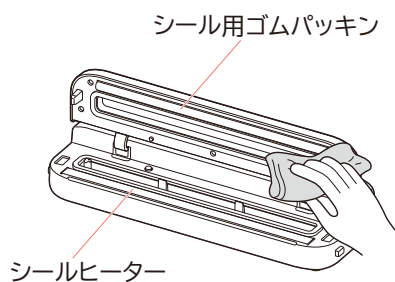


警告

- ・ 運転を停止し、本体が十分冷めてからお手入れをする
- ・ 酸性・アルカリ性の強い洗剤や薬品、漂白剤、研磨剤、研磨剤入り洗剤、金属たわし、ナイロンたわし、研磨剤入りのスポンジなどは使用しない
破損や故障の原因になります。

乾いた布で拭いてください。

※シール用ゴムパッキンは外れます。お手入れ後、元のようにセットしてください。



関連ページ

- ・ [本体 P29](#)
- ・ [脱気溝・スポンジパッド P31](#)

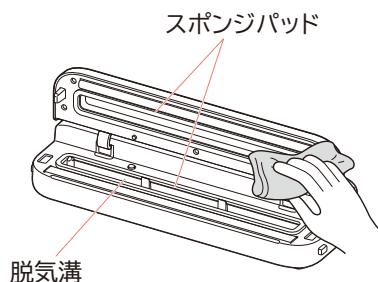
脱気溝・スポンジパッド



警告

- ・ 運転を停止し、本体が十分冷めてからお手入れをする
- ・ 酸性・アルカリ性の強い洗剤や薬品、漂白剤、みがき粉、金属たわし、ナイロンたわし、研磨剤入りのスポンジなどは使用しない
破損や故障の原因になります。

乾いた布で拭いてください。



- ・ 脱気溝・スポンジパッドの汚れが落ちにくいときは、薄めた中性洗剤を含ませた布で汚れを取り除き、固くしぼった布で拭き取ってください。
- ・ スポンジパッド(上下 2 か所)は、取り外せますが、水洗いしないでください。(取り外すときは強くひっぱらないように注意してください。)スポンジパッドは裏表両方使えます。
※スポンジパッドは消耗品です。脱気ができなくなってきた場合、スポンジパッドが劣化している可能性があります。劣化してきたら最終ページ掲載の「専用パーツのご購入」よりお買い求めください。

関連ページ

- ・ [本体 P29](#)
- ・ [シール用ゴムパッキン・シールヒーター P30](#)

お困りのときは

お困りのときは

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みの上、下記の点をご確認ください。

— 動作しない

→電源ボタンが ON になっていますか？

電源ボタンを押して電源 ON にしてください。

— 電源が勝手に切れる

→5 分間放置すると自動で電源がオフになります。

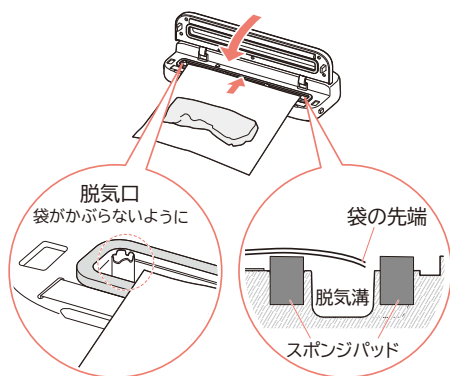
— 空気が抜けない

→本体のふたが閉まっていますか？

カチッと音が鳴るまで、本体のふたを閉めてください。

→別売専用ロール・専用袋の切り口が脱気溝に入っていますか？

別売専用ロール・専用袋の切り口を脱気溝に正しく入れてください。



→穴や破れがありませんか？

別の別売専用ロール・専用袋を使用してください。

→別売専用ロールが袋状になっていますか？(→[シール止めする P24](#))

別売専用ロールを袋状にしてから使用してください。

→スポンジパッドが正しく装着されていますか？

スポンジパッドを正しく装着してください。

→スポンジパッドが劣化していませんか？

スポンジパッドは裏表両面使えます。スポンジパッドは消耗品ですので、脱気ができなくなってきた場合、スポンジパッドが劣化している可能性があります。

アイリスコール(☎ [電話をかける](#))にお問い合わせください。

→ガラス容器とチューブがしっかりセットされていますか？

ガラス容器とセットしたチューブを上から押さえつけるように固定しながら脱気してください。チューブが折れたり、ねじれたり、つぶれたりしていないか確認してください。

— シール(溶着)されない

→シール部分にしわが寄っていませんか？

別の別売専用ロール・専用袋を使用してください。

→脱気時に食品などの水分が袋の内部で広がり、シールヒーター部に達していませんか？

保存するものの水分をよく切るか、冷凍してから使用してください。また水分が多い場合はガラス容器を使用してください。

→別売専用ロール・専用袋がシールヒーターにのっていますか？

別売専用ロール・専用袋を正しくセットしてください。

→別売専用ロールの切り口がまっすぐになっていますか？

まっすぐにカットしたものを使用してください。

→ゴムパッキンが劣化していませんか？

アイリスコール(☎ [電話をかける](#))にお問い合わせください。

→ゴムパッキンが外れていませんか？

ゴムパッキンをセットしなおしてください。

→自動モードで、袋から空気が抜けていません

自動モードでは袋から空気が抜けないとシール(溶着)されません。

— 脱気後、空気が入り込む

→シール部分にしわが寄っていませんか？

別の別売専用ロール・専用袋を使用してください。

→シール部分に水や食材が付着していませんか？

水や食材を取り除いて、完全に乾いてから使用してください。

→穴が開いていませんか？

別の別売専用ロール・専用袋を使用してください。

— シール部が溶ける

→連続して作業をしていませんか？

作業を一度中止し、しばらく時間をおいてから作業を再開してください。

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店、またはアイリスコール(☎ [電話をかける](#))へお問い合わせください。



警告

・ ご自分で分解・修理・改造をしないでください。

その他の情報

廃棄について

製品を廃棄する場合は、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。



リチウムイオン電池は
リサイクルへ

本製品に使用しているリチウムイオン電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。

充電電池の交換はできません。

ご使用済の本体は分解せずに、自治体のごみの処理方法にしたがって、リサイクル処理をしてください。



警告

- ・ 充電電池は、必ずリサイクルしてください。次のことを守ってください。
 - 一般ごみとして捨てない
 - 分解しない
 - 高温になる場所に放置しない
 - 火の中に投げ入れない
 - 他の機器に使用しない

消耗品について

- 専用袋は消耗品です。ご購入は、お買い上げの販売店またはアイリスプラザ(<https://www.irisplaza.co.jp>)でお買い求めください。
→衛生上の観点から再利用できません。
- スポンジパッドは消耗品となります。劣化してきたら最終ページ記載の「専用パーツのご購入」よりお買い求めください。
- 別売専用ロール・専用袋は、「VPF-〇〇〇」と記載してある商品をお買い求めください。(下記二次元コードからお買い求めください。)
※別売専用ロール・専用袋以外のものを使用すると、うまく脱気・シールできないことがあります。



仕様

定格電圧	DC7.4V
電源	リチウムイオン電池
充電池容量	2600mAh
充電入力	DC 5V 1A
充電時間	約 3.5 時間
シール可能幅	最大 280mm
脱気力	約 50kPa
使用可能な袋	別売専用ロール、別売専用袋
使用可能な容器	別売専用耐熱ガラス容器 (TGS-650、TGS-1500)
製品寸法(本体)	幅 380×奥行 140×高さ 60mm
製品質量	約 1.03kg
付属品	<容器用チューブ> サイズ:約 60cm 材質:ABS、シリコン < USB ケーブル> コード長さ:約 1m <専用袋> サイズ:幅 約 200×長さ 約 300mm 材質:ナイロン、ポリエチレン

※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

－保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。
保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。

－保証期間

保証期間は、保証書(かんたん操作ガイド)に記載されています。
保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

－保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または修理専用コール(☎ [電話をかける](#))にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

－補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、5 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

－アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコール(☎ [電話をかける](#))にお問い合わせください。

お問い合わせ

お問い合わせについてはこちら

●お問い合わせの際は、製品の型番をお調べいただき、取扱説明書・購入履歴の分かるもの・メモのご用意をお願いします。

製品に関するお問い合わせ

アイリスコール:[0120-311-564](tel:0120-311-564)(通話料無料)

9:00～17:00(年末年始・会社都合による休日を除く)

修理に関するお問い合わせ

修理専用コール:[0800-170-7070](tel:0800-170-7070)(通話料無料)

9:00～17:00(年末年始・会社都合による休日を除く)

お客様サポートはこちら



<https://www.irisohyama.co.jp/support/>

専用パーツはこちら



<https://www.irisohyama.co.jp/support/parts/>

製品の最新情報はこちら

<https://www.irisohyama.co.jp/>